

点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	0450344
基幹・一般の別（選択記入）	特定一般統計調査
調査の名称	障害福祉サービス等経営実態調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他（報酬改定の基礎資料として活用している。）
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.調査の目的 <input type="checkbox"/> 2.調査対象の範囲 ※ <input type="checkbox"/> 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 } <input type="checkbox"/> 4.報告事項とその基準期日 ※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 } <input type="checkbox"/> 5.報告の方法 ※ { 報告を求めるために用いる方法 } <input type="checkbox"/> 6.報告を求める期間 ※ <input type="checkbox"/> 7.集計事項 ※ <input type="checkbox"/> 8.結果の公表方法及び期日 ※ { 調査結果の公表の方法及び期日 } <input type="checkbox"/> 9.使用する統計基準 <input type="checkbox"/> 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 } <input type="checkbox"/> 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ } 	一部不整合あり
-----------------------------	--	---------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
6. 報告を求める期間※	<input type="checkbox"/> 調査実施期間(始期・終期) 調査の周期	<input type="checkbox"/> 調査票の提出期限 その他	<input type="checkbox"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 その他	<input type="checkbox"/> 実施方法の見直し 対応中/対応予定	次回調査実施時には、調査計画を変更せず、委託業者の作業進捗管理を徹底し、調査計画と実態との整合を図る。
	特記事項 (○をつけた項目の概要を記載してください) 調査計画上の調査実施期間は、令和5年6月上旬～7月上旬(オンライン回答の場合は7月中旬)としていたところ、実際の調査票の配布は6月12日、調査票の提出期限は7月18日(オンライン回答の場合は7月25日)となり、調査実施期間(始期・終期)に相違が生じた。				
7. 集計事項※	<input type="checkbox"/> 未集計 復元推計	<input type="checkbox"/> 未公表 その他	<input type="checkbox"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し その他	<input type="checkbox"/> 対応中/対応予定 対応中/対応予定	次回調査実施時には、未公表の参考表4～6について調査計画から削除する方向で調査計画の見直しを行う、又は利用者が数値を混同しないよう補足説明をすることで調査計画どおり実施するかを検討し、調査計画と実態との整合を図る。
	特記事項 (○をつけた項目の概要を記載してください) 調査計画上の集計事項について、参考表4～6が未公表となっていた。				

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<ul style="list-style-type: none"> □ 課題なし □ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	---

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容（左記の類型） (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 1	業務マニュアルの整備について、令和5年度に実施した省内の業務マニュアルの点検結果を踏まえ、次回調査（令和8年度実施）において、調査を行いつつチェックリスト項目を基にマニュアルを拡充し、令和8年度までに充実を図る。	調査計画の見直し・改善 <input type="checkbox"/> 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="checkbox"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 <input type="checkbox"/> 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は3回前の調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	本調査については、目標精度を5%とし、直近の調査の有効回答率を基に想定有効回答率をサービス区分ごとに設定している。令和5年調査については、直近で実施した「令和4年障害福祉サービス等経営概況調査」の有効回答率を基に40~74%で設定している。	平成29年	令和5年度調査 54.4%※ ※サービス全体の有効回答率	令和2年度調査 54.4%※ ※サービス全体の有効回答率	平成29年度調査 51.6%※ ※サービス全体の有効回答率
	○ 回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	設定なし					